

秩父演習林、突出峠の鳥類

石田 健

研究課長付／フィールド研究支援員

突出峠 つんだしとうげ

標高1650m付近

針広混交林 (冷温～亜寒移行帯)

細い尾根上にだけ天然林が残存

北緯 35度 55分 17.6秒 / 東経 138度 48分 30.8秒
(WGS84)



栃本から望む



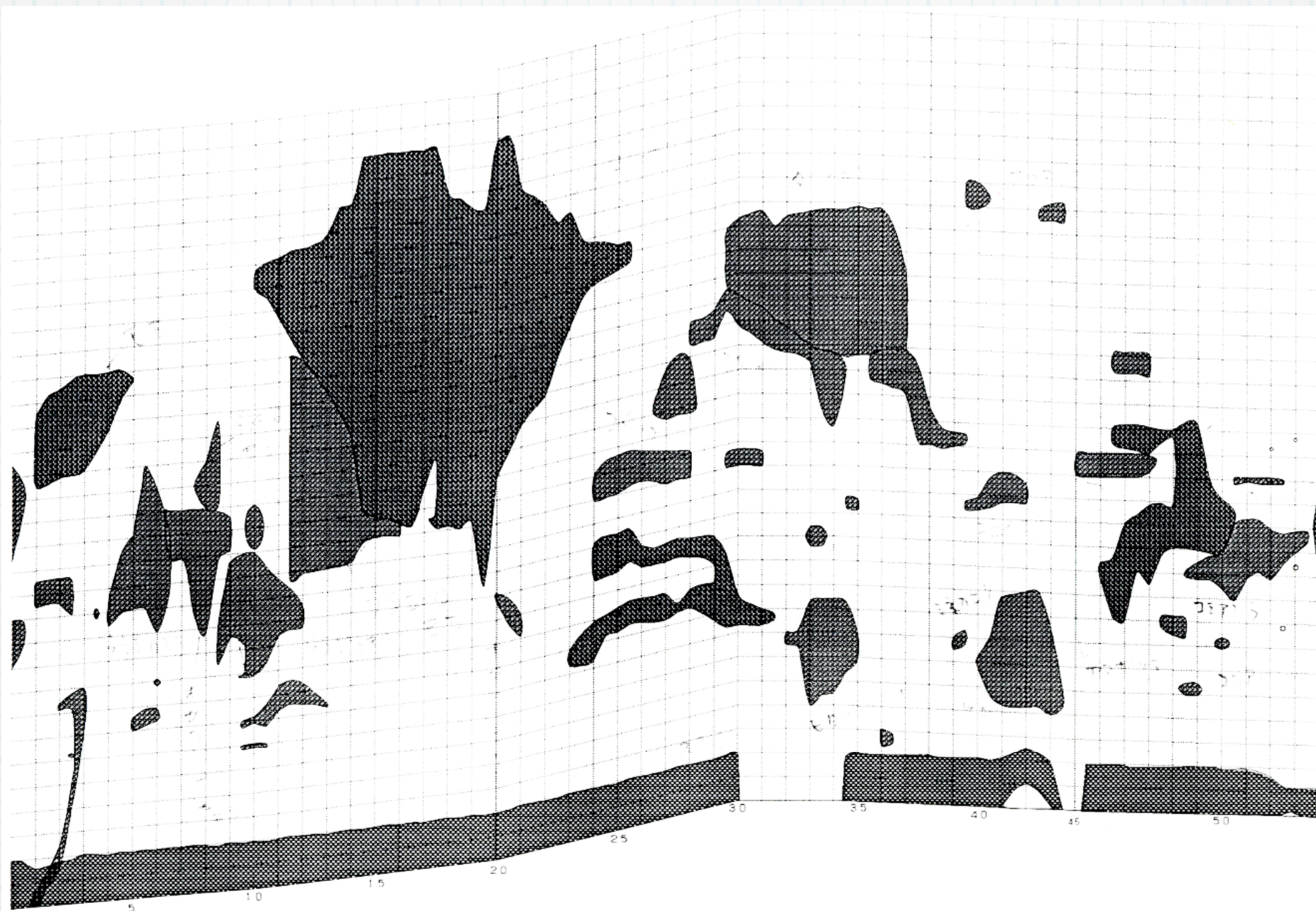
第3
入川森林鉄塔から望む

Google Earth



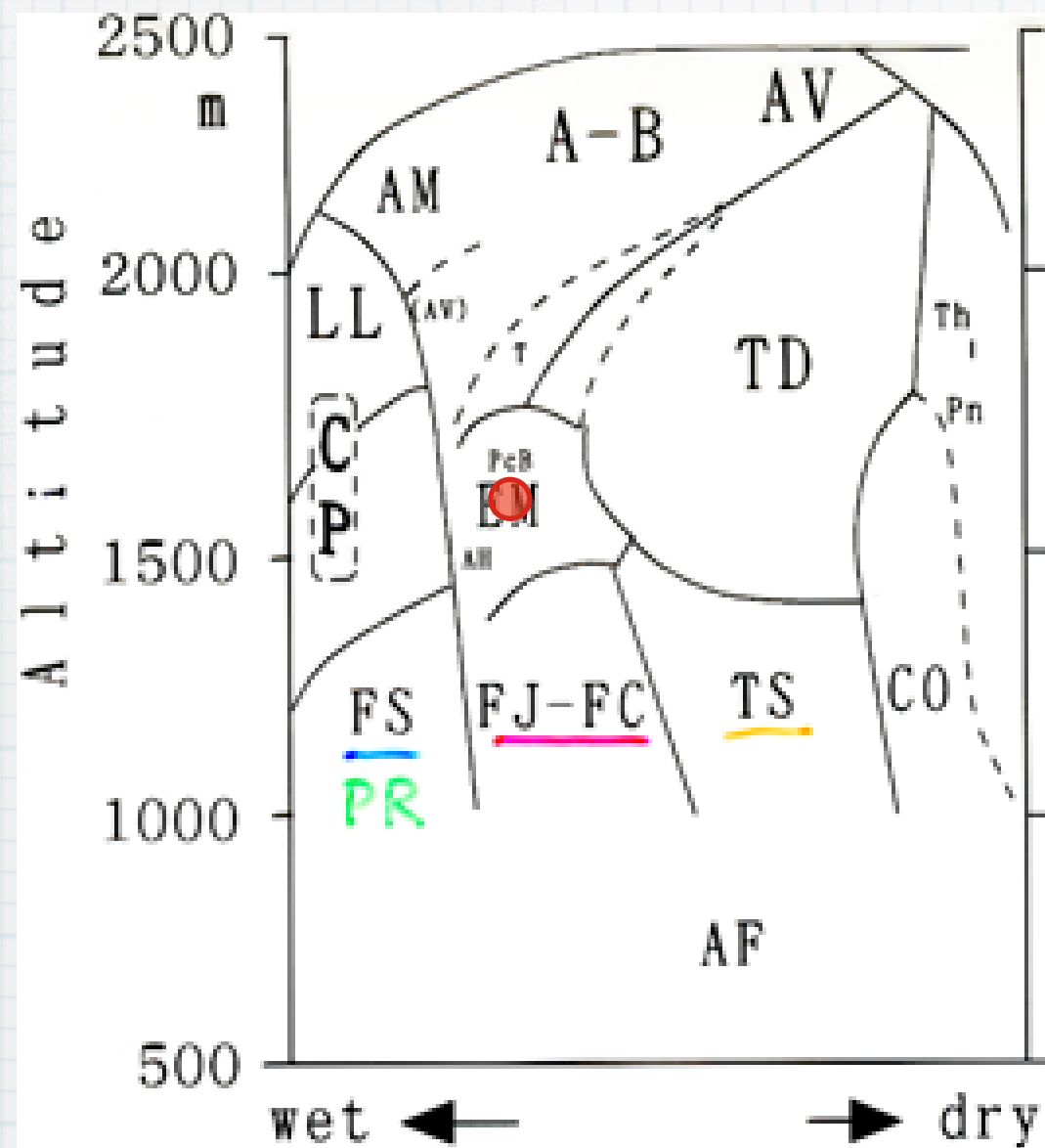


針広混交林、林床にスズタケ



突出峠の植生断面図 Vertical Section of the Vegetation at Tsundashi Pass

植生断面図



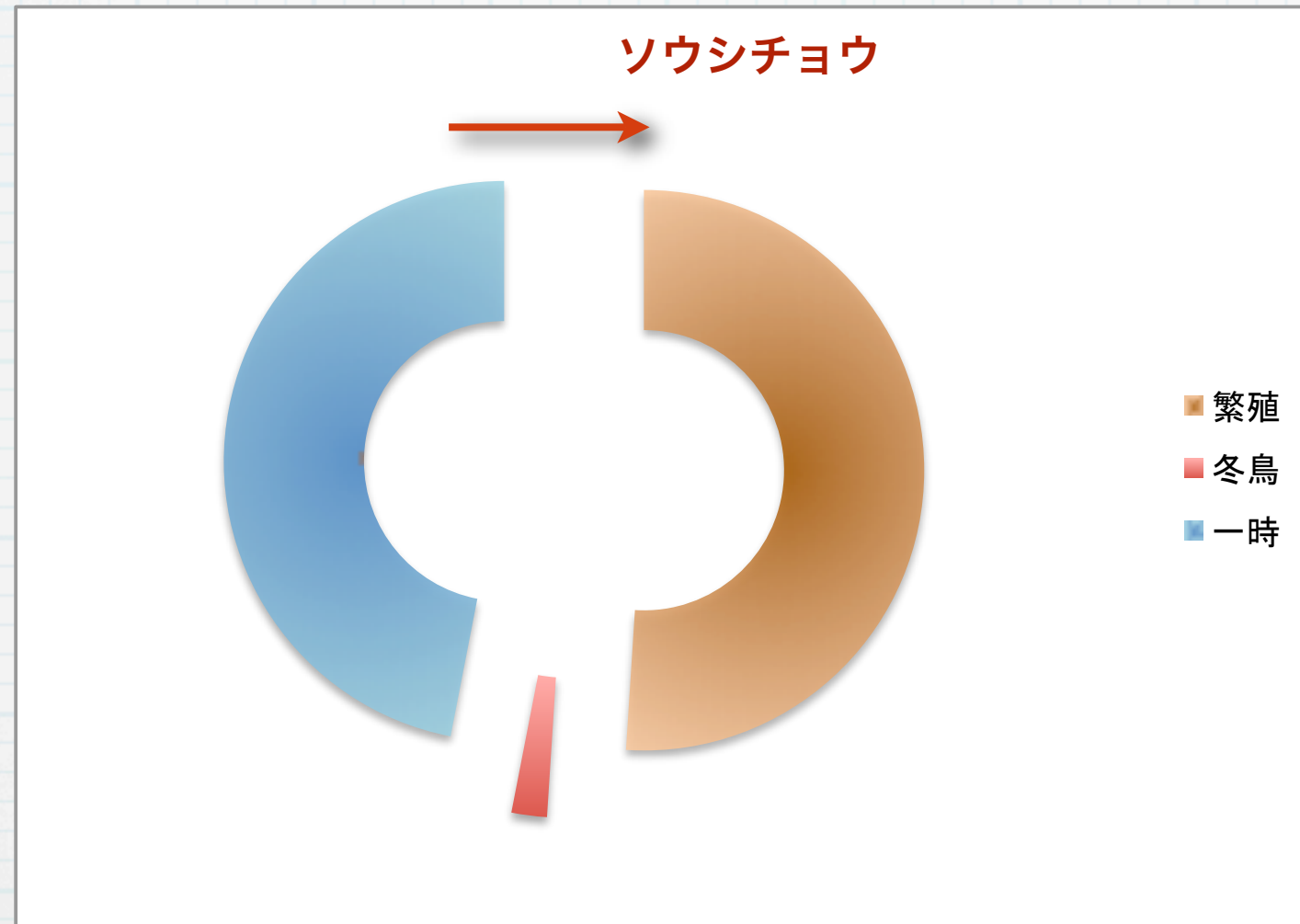
秩父産地の北斜面における植生パターン (高杉 1971)

群落型は、S(低木林)、AV(山頂シラビソ林)、A-B(シラビソ・オオシラビソ・ダケカンバ林)、(AV)(亜高山帯下部源頭シラビソ林)、AM(溪畔オオシラビソ林)、T(A-B/TD・移行帯)、Th-Pn(ネズコ・キタゴヨウ・コメツガ林)、TD(コメツガ林)、**EM(高山帯/山地帯・移行帯混交林)**、Pc・AH(イラモミ・ウラジロモミのモードの位置; ひなた斜面ほど優勢でない)、LL(河谷カラマツ林)、CP(サワラ林; 普遍性がない)、PR(サワグルミ林)、CO(ヒノキ林)、TS(ツガ林)、FJ-FC(ブナ林; ブナはイヌブナよりも乾性側にモードを持つ)、FS(シオジ林)、AF(調査地外, モミ林; 里山の1000m以下はツガが乾極を占め一般の尾根はモミが優勢)。

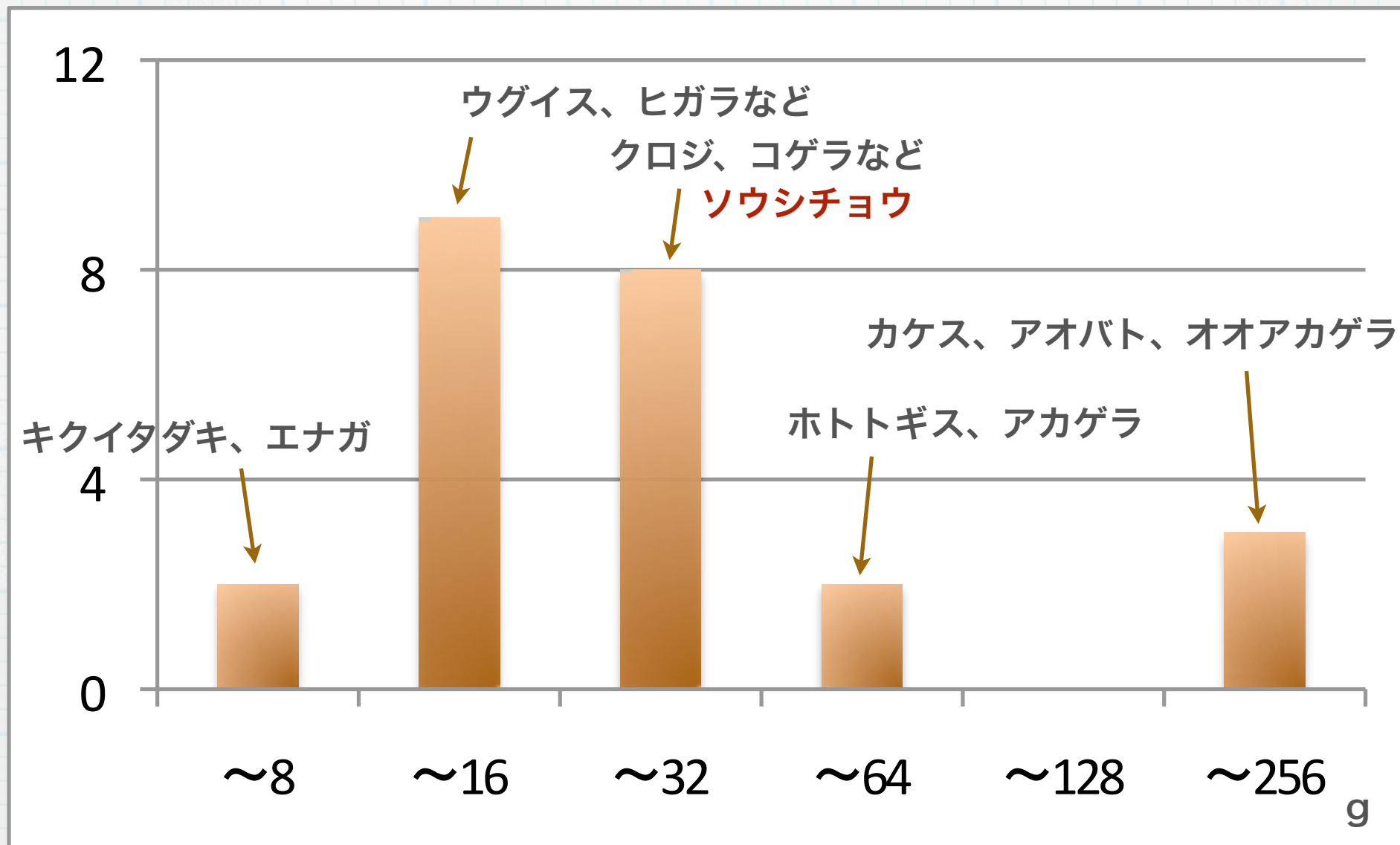
アカゲラ
オオアカゲラ
コゲラ
キクイタダキ
コガラ
ヒガラ
シジュウカラ
ゴジュウカラ
キバシリ
エナガ
ウソ
アオバト
ホトギス

ミソサザイ
コマドリ
コルリ
ルリビタキ
ヤブサメ
ウグイス
メボソムシクイ
サメビタキ
クロジ
カケス
ソウシチョウ

約50種記録25種ほどが付近で繁殖している



15年ほど前はソウシチョウは一時滞在者
今は、ほぼ周年生息し、付近で繁殖している
冬鳥（の記録）が少ないのは冬に調査していないから



2から256gの体重クラス別の種数



**ソウシチョウは下層植生依存の種
同様なのは、ウグイス、クロジ、コルリ、ヤブサメ
4種の依存の強さはこの順に小さい？**

東條さんの図参照



2007年の捕獲個体数割合
ソウシチョウはかなり優先占

鳥類標識調査

霞網で捕獲して・
環境省の金属脚環で
標識する、測定も・



霞網場（ただんである）
5～10月に12mx10枚、一泊二日

研究目的：

1. 情報の乏しい、高標高山地の鳥類等、生態系データの蓄積（1989年春～1995年夏まで、同様の標識調査を実施したデータと比較する）。標識調査の際、録音および観察種記録を実施。
2. 外来種ソウシチョウの定着（初記録は1989年8月30日）後の生息状況、今後の変化を記録し、鳥類群集等への影響を評価する。
3. シカが食べることによる林床植生、特にササ（スズタケ）の桿密度変化が鳥類群集に与える影響を評価する。
4. 数年の内に起こる可能性がある（確率は不明、雁坂峠から突出峠一帯では1940年代後半に一斉開花・枯死の起こったことを、元／雁坂小屋管理人の方が観て記憶されています）スズタケの一斉開花・枯死が、実際に起こった場合の前後の森林生態系の変化を記録したい。

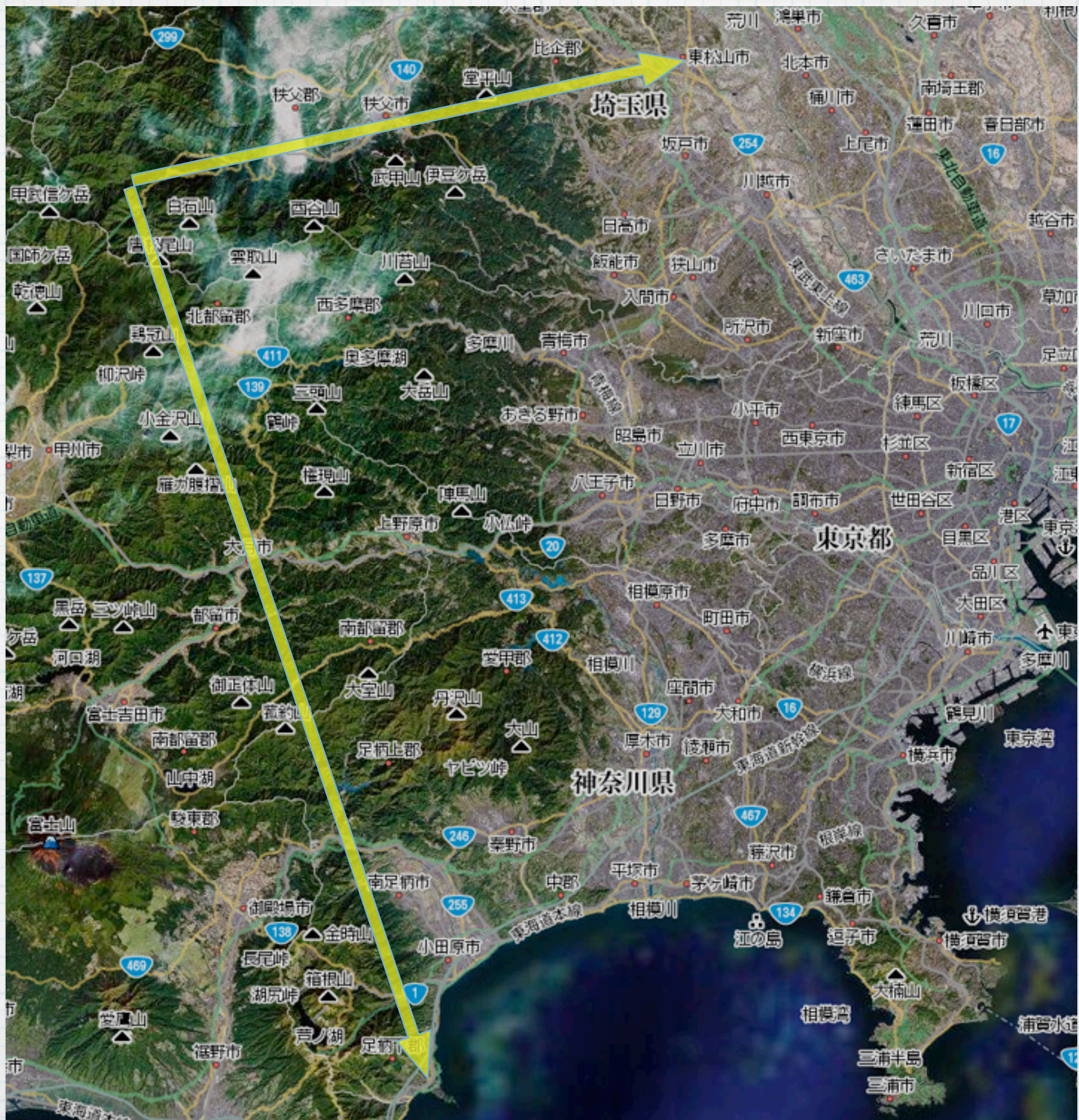


霞網に捕獲された鳥



環境省 金属脚環

標識したウグイス♂が見つかった2カ所





ウグイス ♂



2008.5.27 Tsundashi

ソウシチョウ (相思鳥、外来種)



ソウシチョウ (相思鳥、外来種)



2008.7.16 Tsunda

コルリ ♂



ルリビタキ 幼（若）鳥



2007.10.5 Tsund

ルリビタキ ♂



ミソサザイ



クロジ ♂



ヒガラ



コガラ



エナガ



2007.7.31 Tsunda

ゴジュウカラ



メボソムシクイ



ヤブサメ



コマドリ



コゲラ(養父市)



ときには 独り



ときには なかま と 火を囲み

当面の、課題

突出岬で スズタケの開花・枯死 が起ると、

下層植生の茂った環境に営巢する

ウグイスやソウシチョウ、コルリ など は 生息しなくなるか？

その場合、代わりに増える種（群）はあるか？

突出岬周辺で 一時期（2000～2006？） シカの加食が目立った

しかし、去年・今年 と鳥類標識調査を始めてみたら、シカの食痕が

目立たなくなっている。

東條(2006)

ニッチはそんなに空いているのか？
時間経ってみないとわからない？
どこでも、同じ？

ソウシチョウがいても、減る種はいなかった
東條(2006)

空いているニッチに入っただけ？ 多様性上がる？

ソウシチョウがいると、ウグイスの巣の捕食が
増え、繁殖率が低下する 天野・江口(2007)

捕食者を引きつける負の密度効果??

天野・江口(2007)

別よう環境要因を見落としてない？
操作することによる人的影響ない？
どこでも、同じ？

突出峠では、ササ枯死やシカ加食などに変化

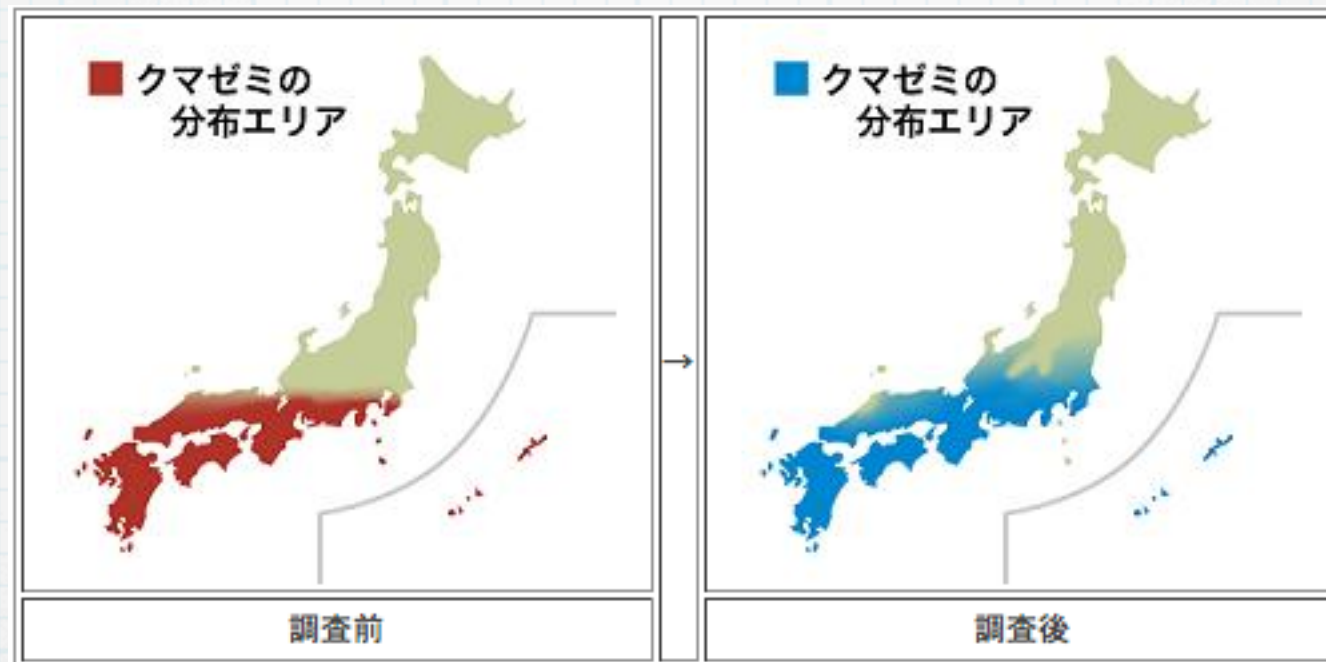
を、自然の実験と考え、変化の前後の
鳥類群集を比較する

録音

ADAM = Acoustic Data for Animal Monitoring

鳥 の他 セミ、カエル、シカ（オスの高鳴き）など

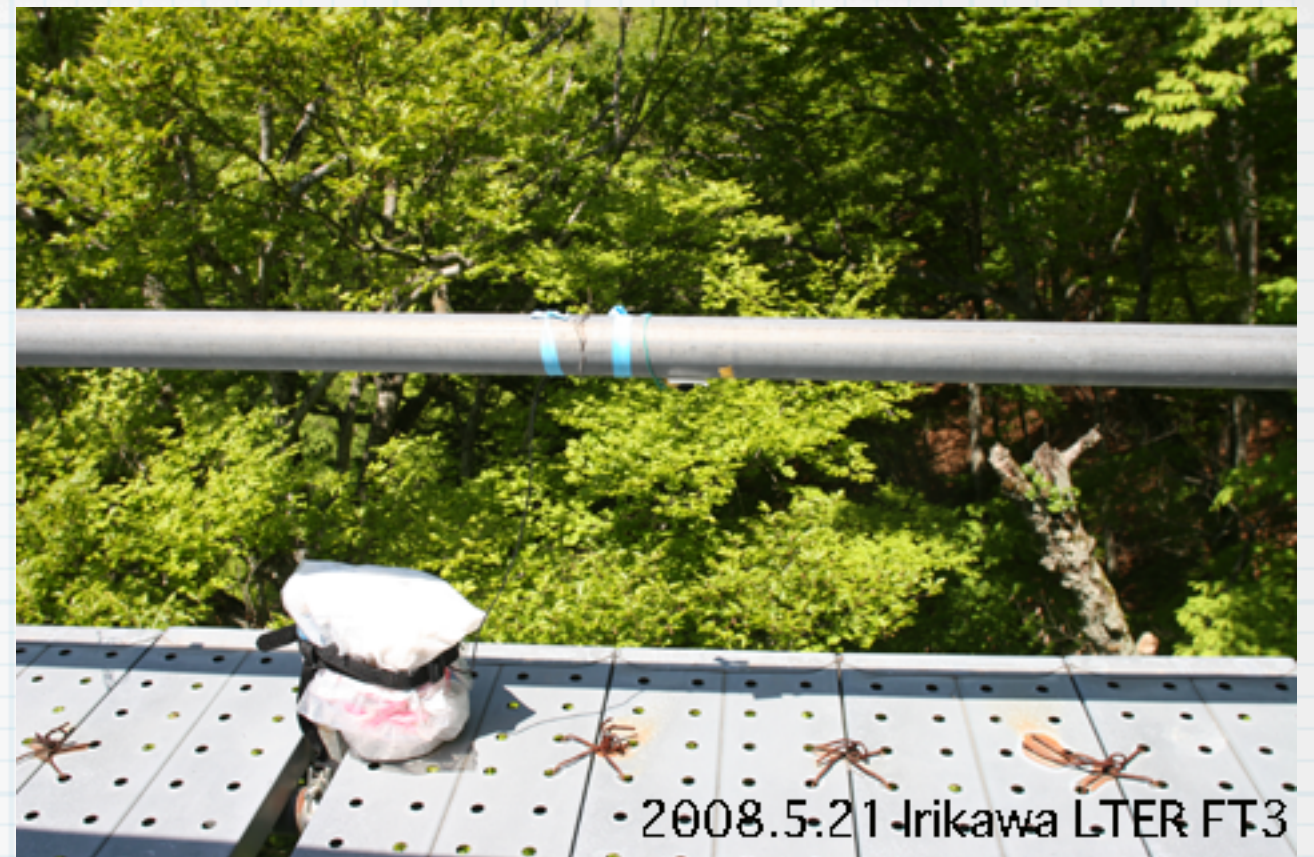
クマゼミ 鳴いている地域の北限が広がっている？ まだ、不明も



<http://weathernews.com/jp/c/press/2008/080903.html>

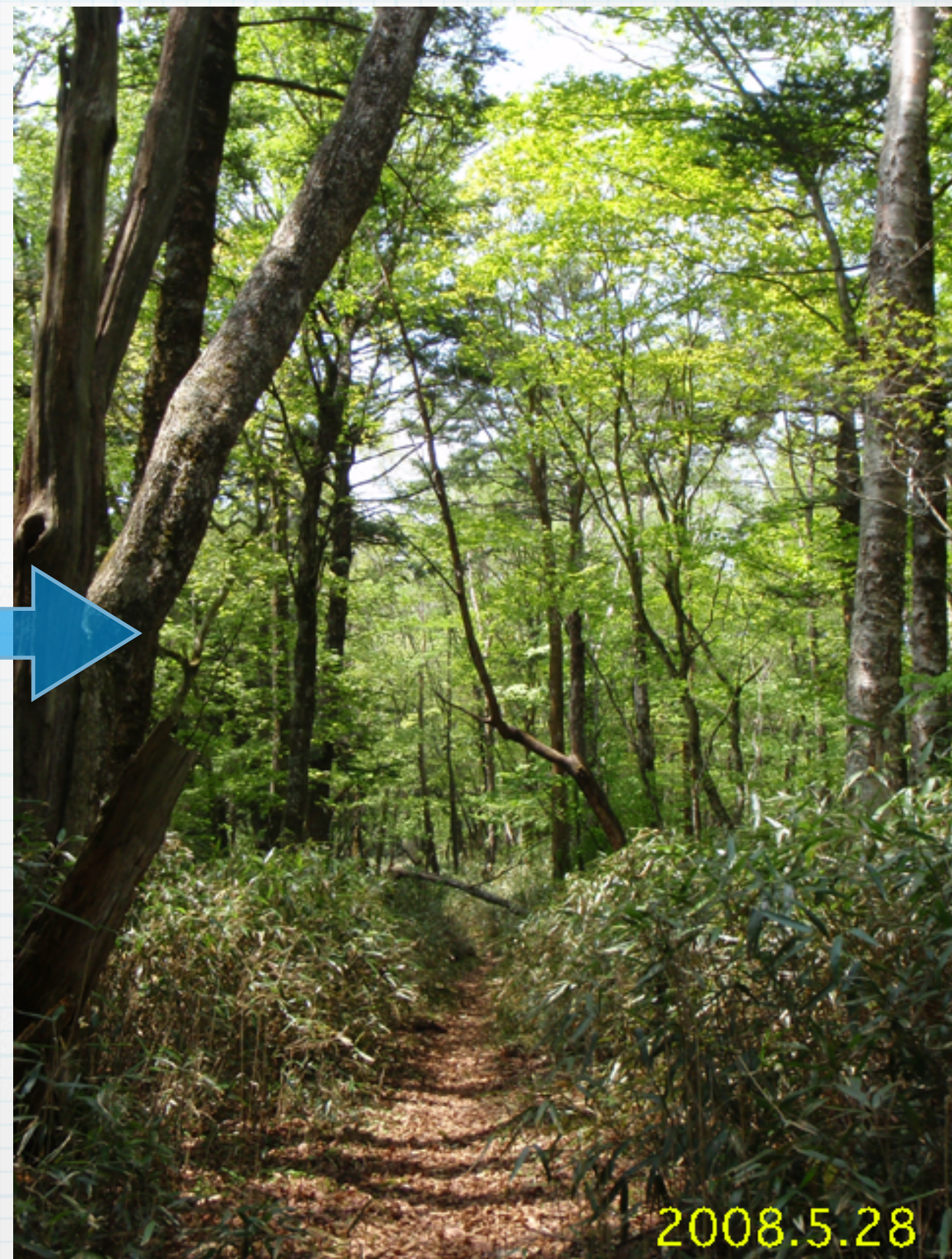
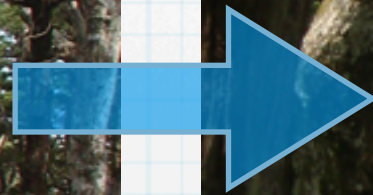
突出峠では、1990年頃セミは鳴いていなかったと思う（記録？）
今は、短時間、エゾハルゼミ が 鳴いている

さえずり開始期を 長期間モニタリング



タイマー録音機能 のある
オリンパスDS-50/60
を使って1ヶ月程度自動連続録音

ウグイス ツツドリ ホトトギス カッコウ ジュウイチ
キビタキ コルリ アカハラ など でモニタリングできそう



2001年と2008年、同じ場所を逆からみて

シカについて、あてはずれ？

開花・枯死



2005.7.17 Chichibu

スズタケ の 花

虫食いの穴



2005.7.17 Chichibu

スズタケの種子 2005年7月 at 秩父演習林



2005年開花調査地の2008年の状態



2008年、開花区域が移動中

秩父の地元の古老の話し　：
1940年代後半（「戦後すぐ」）に、
雁坂峠のササが一斉に開花枯死した

そろそろ**60**年　経つ。

素数なら、**59, 61, 67, 71...**

120年程度周期の可能性もあるものの、
この数年の集団開花は、全面開花の前触れでは？

マダケの例　1953年頃開始　～　1966年全面



ご猜聴ありがとうございました